

食文化シリーズ「長屋王の宴の食」を体験

今回は、飛鳥・万葉時代の貴族が食していたと考えられる料理を伝承料理研究家の奥村彪生先生に再現していただきました。



10月1日（土）38名の方が明日香村祝戸荘に集まり、まず奥村先生に長屋王の屋敷跡で発見された木簡に書かれてあった1300年前の食材、食し方についての講演をお聞きしました。先生の万葉歌を聞きながら、当時の食事に思いをいただいた後、先生の指導で再現していただいた、「もみじ鯛の醬酢」、「索餅のゆで小豆かけ」の2点と、祝戸荘のオリジナル古代食「万葉あすか葉盛御膳」をいただきました。

想像をこえた飛鳥・万葉時代の充実した食事内容にびっくり、堪能いたしました。



もみじ鯛の醬酢と万葉あすか葉盛御膳



索餅のゆで小豆かけ

当日はお天気もよく、周辺は彼岸花が咲き乱れており、食事会終了後は思い思いに明日香の里を楽しんでいただきました。